

月報	日本キリスト改革派 横浜中央教会	11月号 2011年11月20日
----	---------------------	---------------------

皆で行う公同礼拝

C. K

横浜中央教会に与えられている神様からの恵みを数えた事がありますか。先ず、礼拝をする会堂が与えられ、御言葉に忠実に立つ牧者が与えられ、毎週、主の日・安息日の公同礼拝が守られ行われている恵みはこの土ない感謝であります。午前10時45分からの礼拝を比較的多くの人が、大人の礼拝・成人礼拝と理解している様です。しかし、此の礼拝は本当にそうでしょうか。大人だけの礼拝、大人を中心とした礼拝でしょうか。週報を見てもただ礼拝としか記されていません。しかし、この礼拝は、(全ての礼拝も神様のお招きに依らないでは成り立ちませんが) 特別な礼拝です。降誕祭特別礼拝や復活祭特別礼拝等と言う名称の違いで無く、キリストに在る者全てが招かれている時(礼拝)です。

大人だけで無く、乳飲み子や幼児達も学童も全てのキリストとの契約の内に入れられている者は全て招かれています。この礼拝に乳飲み子や説教を理解出来ない幼児と学童期の子供達を参加させる必要があるのかと言う人が居ます。また子供は騒がしいから雰囲気を壊すから連れてきても母子室の様な部屋に置いて十分だと言う考えも在る様です。

しかし、聖書を見ると次の様に記されています。

「主の選ばれる場所にあなたの神、主の御顔を拝するために全イスラエルがあつまるとき、あなたはこの律法を全イスラエルの前で読み聞かせねばならない。民を、男も女も子供も、町のうちに寄留する者も集めなさい。彼らが聞いて学び、あなたたちの神、主を畏れ、この律法の言葉をすべて忠実に守るためであり、これをまだ知らない彼らの子供たちも聞いて学び、あなたたちがヨルダン川を渡り、人って行って得る土地で、彼らも生きている限り、あなたたちの神、主を畏れるようになるためである。」 申命記 31:11~13

少なくとも、この時代から教会学校の制度が確立する迄は古代イスラエル共同体と同様にそして、当然の様に親子が一緒に礼拝にをしていました。子供は生まれると当然の様に神との契約にある者として礼拝に参加していました。新約時代も全く同じでした。私たちの教会もこの姿勢を大切にし、与えられている恵みを感謝し、礼拝をますます充実させましょう。

この信仰教育は、親の一番の仕事ですが、教会もどの様に支えられるか考えるべきです。子供の参加を知る上で関連聖句をあげておきます。

歴代誌下 20:13、エズラ 10:1、マタイ 18:2~5、
19:13~14、21:15~16、ヨハネ 6:9等

先日、小学校の同窓会に行ってきました。二十歳になる年にクラスの同窓会をして以来です。今回は、クラスの枠を取り払った学年同窓会でした。そこで私が一番よかったと思ったのは、2人の人にあやまれたことなのです。

1人は、1年2組で一緒だったS君です。「鬼ごっこする者、この指止まれ」に間に合わなかったS君に、私は「もうだめだよ」と言ってしまったのです。「新井さんなんて、もういいようだ」と、悲しそうに走り去ったS君の後ろ姿が、妙に心に残っていました。私にまわりついて来るのがうっとうしくて、そんな意地悪をしてしまったのかもしれないのですが、やりすぎてしまったという自覚がありました。

もう1人は、6年2組で一緒だったK君です。学習発表会で、「アリババと40人の盗賊」の劇をしたのですが、私は脚本を書くだけに飽き足らず、主役もとってしまったのです。K君と仲良しの子がK君を主役に推していたのですが、私は押し切ってしまいました。子どくさんの家庭で育ち、家でわがママが言えなかった分、学校で思い通りにしたかったのかもしれない。

どちらの人も、「そんなことあったかなあ」と笑っていましたが、私は思いがけずあやまるチャンスに恵まれたので、心が晴れ晴れしてありがたかったです。

もし時間を巻き戻せるなら、班でいじめられていたY君をかばいたいと思います。1年生の時の担任が産休に入り、代替の先生が班の写真を撮ってくださっていました。だから、その時の4人のメンバーが写っています。いじめっ子の2人と、その向かい側で堅い表情の私、そしてとなりのY君は、今にも泣きそうな顔に見えます。Y君が「変な顔」とか言われていたのに、私はそれを止めた記憶がないのです。彼は、2年生になると同時に新設校へ別れて行ったきりですから、もうあやまるチャンスはありません。

そう言えば、折り紙を折る作業をしていて、うまくいかなかった子が泣いてしまった時がありました。私は近くの席でありながら、気遣うのではなく、「どうして泣くんだろう」と不思議に思った記憶があります。先生が助け船を出していましたが、私は自分に何かできることはないか、という発想を全くもたない子どもでした。

大人数の兄弟の一番上であるというだけで、面倒見が良いとか、思いやりがあるかのようには言ってくださる方もいましたが、同窓会をきっかけに思うことは、やはり人は幼い時から罪深く、他者への愛に欠けた者であるということです。

多くの友だちが、母を覚えていてくれたことには驚きました。授業参観で、常に小さい弟や妹を3人は連れていましたから、印象深かったということです。その母の夢を見ました。10年前に召されて以来、一番はっきりした夢でした。私と2人で電車にゆられています。母教会である東京教会に向かっているという設定なのですが、私は読書にかかりきりで母任せの様子。ふと目をあげると、東京教会ではなく、国立（くにたち）聖書教会に近づいているのがわかり、私は驚きます。もう今から方向転換しても、東京教会での催しには間に合いません。「どうして…」と母を見つめると、もじもじしています。それで私は、「ああ、矢内先生のお話が聞きたかったんだ」と合点するところで夢が終わります。

東京教会から、こちらの教会に移ってくることになった当時、母はやっと子育てが一段落して、さあ矢内先生（当時の東京教会牧師）の説教が身を入れて聞けると張り切っていたところだったので、「寝耳に水で拗ねてしまいそう」と言っていました。その記憶が、現在も国立聖書教会でご活躍中の矢内先生に母が会いに行こうとする夢を見させたのでした。

「あの先生のお話が聞きたい」と思える牧師先生との出会いは、かけがえのないものです。私たちの教会も、無牧の時代を経てから立石先生をお迎えし、養われてきました。早くも勤続14年…この恵みに感謝し、ますます聖書から豊かに教えられて歩んでいきたいと願います。

私たちの人生は悔いること多く、罪を重ねる日々ですが、後悔に終わることはありません。イエスさまによって罪赦されているからです。もう相手にあやまるチャンスがないようなことを日々重ねていても、イエスさまが身代わりの死を遂げてくださいました。このイエスさまの救いを宣べ伝えることができるよう祈ります。

『Rejoice』

K. K

皆さん、よくご存知の本とは思いますが、我が家でも愛用している『Rejoice』について書くことにしました。

『Rejoice』は、日々のディボーションを助けてくれる本で、日本キリスト改革派教会の教育機関誌委員会が3年前から発行しています。A4版で中身は28ページあり、1ページに2口分の聖書日課が書かれています。毎日約1章ずつ進み、4年間で旧約聖書を1回、新約聖書を2回網羅します（←本文の説明より）。指示された聖書箇所を全部読むのがベストですが、時間がとれない時など、記載されている“その日のポイント聖句”と解説だけ読むのもいいと思います。解説はわかりやすく、歴史の苦手な私でも旧約聖書の教えが、ス〜つと心に入ってきます。

以上の「大人のための聖書日課」の次には、「子供のための聖書日課」が続きます。1ページに6日分か書かれていて、とてもコンパクトにまとまっています。主題聖句と解説の漢字にはルビがふってあるので、平仮名がわかれば小さなお子さんでも読めます。毎日大人と同じ箇所を扱うので、家庭礼拝でも使えますし、又、私一人のディボーションの時にも必ず目を通し、「この箇所は、このように伝えればいいのね〜、なるほど〜。」と、いつも教えられています。ちなみに、受験の塾通いのため、去年の秋以降礼拝になかなか出席できなかった当時小6の長女の信仰を支えたのは、この「子供のための聖書日課」と「罪の告白の祈り」（礼拝中に捧げている）でした。

『Rejoice』の内容はこれだけではありません。ウェストミンスター小教理問答から毎月3問ずつの詳しい解説があり（主人は切り取ってファイルしているようです）、聖書をもとにしたマンガや「信徒の手引き」の紹介等も載っており、更に、み言葉と小さなメッセージと素敵な絵が印刷されたポストカードも毎月ついてきます。

こんなに盛り沢山で月々300円とお買い得！？ 2012年分の申し込み期限は今月中とのことです。以上、『Rejoice』の宣伝でした。